

6—205—0

(袋表書)

『

六十七才

四緑木命

(朱書)「女」

(朱書)「十二月廿六日出生也、此年十二月十八日未一刻乙酉年立春正月

入節因之年ト本命ノ違ヒアリ」

庚寅年改正

四十四才

九紫火命

(朱書)「男」

本命星

三十一才

六白金命

(朱書)「女」

(朱書)「正月三日出生也、此年正月十三日夜四時翌庚申年正月入節

因之実ハ己未歳生レ也、本命因之」

十五才

七赤金命

(朱書)「女」

七才

八白土命

(朱書)「男」

三才

四緑木命

(朱書)「女」

ノ

魚 大谷殿居宅之図

』

(袋裏書)

『 明治二十三庚寅年第八月吉辰

地理風水家相転調之図

忒浦西湖(印)

』

6—205—1

1

① 貸家

西之領

貸家

井

口

厠 厠

貸

家

貸家

②

トコ

奥

押込

十畳

台面

書院

トコ

十畳

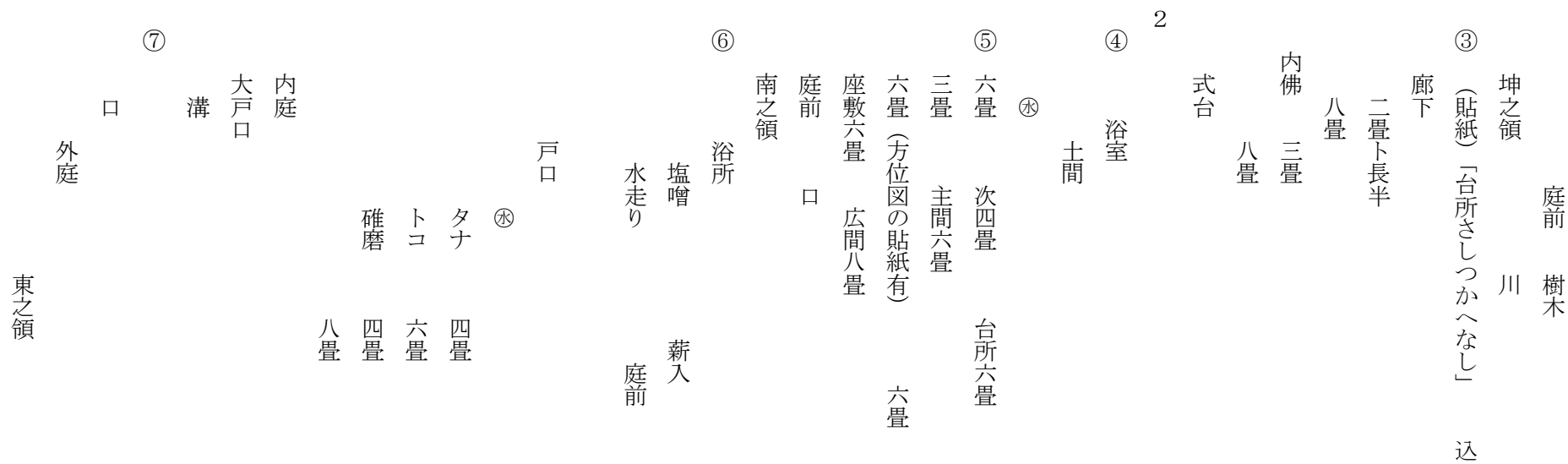
水走

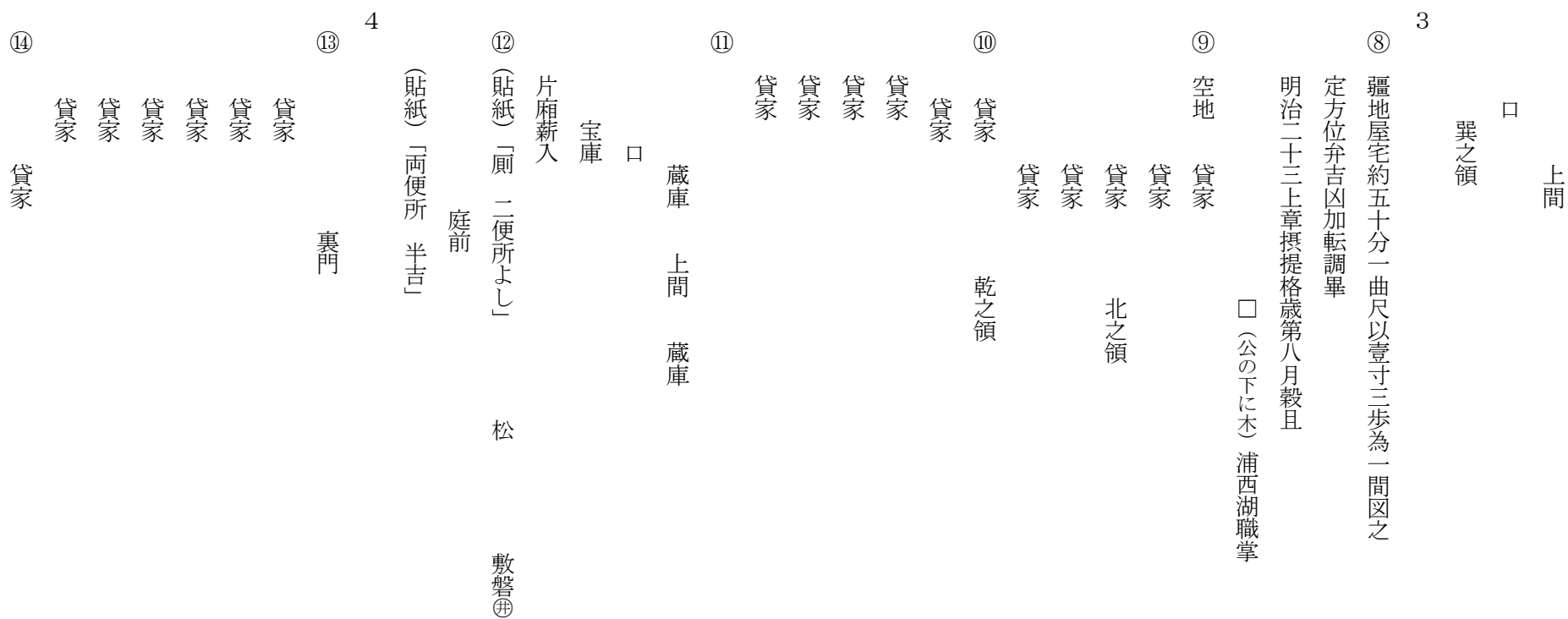
込

明り床

五畳半

㊦





貸家

納屋

貸家

貸家

艮之領

厩

⑮

伝ニ曰、参伍ノ数ヲ立、是ヲ錯綜シ以テ演疇ノ法ヲ作ス、而天地動運事物ノ理ニ不違事、神聖ノ遺伝也、地宅ノ相法ニ於ルモ之レヲ規矩トス、所謂家相一箇ノ小天地也、方今図上敷地ノ如キハ四囲ノ備

ヘニシテ中宮龍ノ形勢ヲ為ス、宅舎ハ子山午向ニ建テ、宅法ニ延年向ノ吉向トス、敷地ノ四囲ト並ベテ木土

制法土金化法ノ両格ヲ備フ、其地凶相ノ補正ハ掛紙ヲ置ク、皆ナ天地数ヲ合セ先天翻卦大小遊年縫針納水之法ニ從ヒ正零進退ノ神ヲ審ニ弁シ吉凶開基ノ理ヲ訂ス、之レ貪狼善星局ヲ管シテ万般ノ良吉相ナリ、吉節ノ循環ヲ符脩作アラバ幸福速カニシテ家運永久ナラムト云尔（印）

6—205—2

方鑒撰撰書

本命星

廿四歳

七赤命

十八歳

一白命

ノ

一 大谷より当家へ当三月十三日

御わたましニ相成候由

⑨線朱書

乾の領

店造作之事  
一切

当壬申年四月節中よろし

尤

三月十三日より今四月十日迄日数

廿七ケ日ニ相成候、三十五六日余を過

し候へ者方宿定り、乾の方者

一白命的殺方と相成候間片時も

早々御修作可被成候事

余ハ口述

一 其外造作事御座候ハ、大急

御取掛り可被成候事

一 乾の領家相殺気方<sup>ニ</sup>付出入

之口を開き候事不宜明り入障子  
丈ケハ不苦候事

一 先居住かゝり<sup>ニ而</sup>不苦候へ共往々

ハ座敷之方御取入一緒<sup>ニ</sup>御住居

可被遊候、無左<sup>而</sup>ハ双方之形勢不宜候

先六七ヶ年之間ハ此<sup>ニ而</sup>構ひ無御座

其後<sup>ニ</sup>至り候へ<sup>者</sup>一緒<sup>ニ</sup>御居住可被成候  
事、口述

壬申年四月

杳浦書